

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	イオン液体を用いた中分子医薬品（ペプチド・核酸）の非侵襲的経皮・経腸吸収促進技術の確立に関する研究
代表機関名	国立大学法人徳島大学
研究開発代表者名	石田 竜弘
全研究開発期間	令和3年度 ～ 令和7年度（予定）

1. 研究開発成果（公開用）

中間報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000120224.pdf>

2. 総合評価

- ・良い

【評価コメント】

ペプチド、核酸、抗体の非侵襲的吸収向上を図るため、シーズに最適なイオン液体組成処方を検討し、経皮・経口投与から経肺・経鼻投与までを目指し、順調に研究を進め、適応可能な分子量の閾値等を明らかにしている。さらに、経皮浸透性の向上を目指し、新技術を併用する試みは興味深く、高度化されることを期待する。

実用化に向けて、臨床で実行可能な投与量の設定検討、イオン液体による吸収促進機序の解明や有害事象の懸念への対応、シーズの構造への影響や製剤の安定性検討等について、さらに検討を進めること。課題間連携でのシーズ開発課題への対応も活かして、各シーズ開発のゴールを想定し研究を進め、オンデマンドに対応できる基盤体制を構築すること。

以上